

「りんごの棚」の設置

1 活動の概要

「りんごの棚」は、スウェーデンの図書館で「すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうこと」を目的に始まった。平塚市では令和5年度から、障がい福祉課と中央図書館が連携事業を実施したことをきっかけに「障がいの有無にかかわらず、多くの方にバリアフリー図書について知ってほしい」という思いで、令和6年2月22日に設置した。

手話で楽しむ絵本、点字付きの絵本や、ピクトグラムなどを使ってどなたでも読みやすく工夫されたLLブック、マルチメディアデージー図書など、多様な人たちが楽しめるバリアフリー図書を集めて配架した。また、リーディングトラッカーなどの読書を補助する道具も用意した。

「りんごの棚」にある本は、一部貸出不可の本もあるが、障がいの有無に関わらず借りることができる。



2 活動の状況、実際

中央図書館1Fのこども室に設置した「りんごの棚」。布で作られた絵本など、つつい手に取ってしまいたくなるような珍しい本もあり、様々な方に楽しまれている。今後は、さらに冊数を増やしていく予定である。

その隣には、様々な言語の絵本が並び、障がいの有無だけでなく、外国にルーツがある方にとっても利用しやすい環境になっている。



3 参加者、指導者等の声

【担当者】

「りんごの棚」を通して、一人でも多くの子どもたちに読書の楽しさを知り、本に親しんでいただきたい。「りんごの棚」のバリアフリー図書などを使ってみることで、様々な読書の方法があることを知っていただき、今まで読書が困難だと感じていた方にも、多くの本と出会い、読書を楽しんでもらえるよう願っている。

はじめてました！

りんごの棚の本

ほかにいろいろな本があります

★りんごの棚ってなに？

りんごの棚はもともとスウェーデンという国で生まれた、「すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうこと」を目的にできた棚です。中央図書館ではこどもたちのなかでできました。

★どんな本が置いてあるの？

- ☐ パソコンやタブレットを使って目と耳で楽しむ本
- ☐ 大きい文字の本 ☐ 手話で楽しむ絵本 ☐ 布でできた絵本
- ☐ 点字付きの絵本
- ☐ LLブック(やさしいことばなどで、わかりやすく書かれた本) など
- 紙に印刷された文字を読むことが難しい人にも楽しんでもらえる本です。

平塚市中央図書館 2024.2